

盃山～唐松観音(夏～秋)

やまがた自然散策ガイドマップ



山形市環境部環境課

〒990-8540
山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

盃山～唐松観音で見られる動植物



＜アベマキ＞

ブナ科の落葉高木で山陽地方が分布の中心の植物です。山形市周辺に隔離分布していて、本来は珍しい植物です。大きなドングリをつけ、シジミチョウ科のクロミドリシジミの食樹として大切なものです。
(花期5月～6月 果期9月～10月)

エノキとよく似ていますが、実は黒くなり果柄が長い点で区別が付きまます。エノキと違い、古くから自生していたと考えられています。エゾエノキもエノキ同様、国蝶オオムラサキの食樹となります。
(花期5月果期10月～11月)

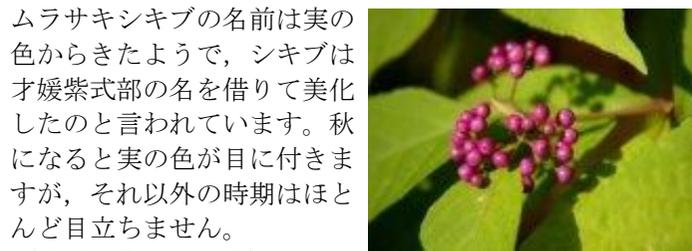


＜エゾエノキ＞



＜ミヤマガズミ＞

この仲間の実にはガズミもミヤマガズミも、この辺の人はヨツズミといって、子供の頃はおやつ代わりに食べました。ズミは酸っぱい実という意味で、名前に違わず酸っぱいものです。
(果期9月～11月)



＜ムラサキシキブ＞

山

盃山～唐松観音で見られる動植物



＜オオムラサキ＞

7月上旬頃より姿を現します。♂は紫色ですが♀は茶色です。♂は晴れた日の午後3時頃に山頂に来てテリトリーを張りますので、容易に見ることができます。♂も♀も大好物の樹液に集まります。
(出現時期7月上旬～8月下旬)



＜クロミドリシジミ＞

成虫は6月下旬頃より姿を現します。アベマキ林の高所に生息しており、その姿を見ることは難しいですが、♀は時々下草などに止まっている場合もあります。似た種も多く区別は難しいです。
(出現時期6月下旬～10月上旬)

主に河川の中流部や湖沼に生息し、冬は市街地の川でも見られます。チーチジョイジョイとさえずり、腰を上下に振り、飛ぶときは深い波形を描きます。(日本特産種 留鳥)



＜セグロセキレイ＞

平地から山地の農耕地周辺の林に生息します。県内で30年程前から観察され始め、今では各地で見られます。ギューイ ギューイと尻上がりに鳴きます。(留鳥)



＜オナガ＞

谷折り